

飯山市放送番組審議会 会議録

出席委員数 6人

欠席委員数 1人

事務局 市長、事業戦略課 2人、(株)テレビ飯山 1人

日時 令和7年(2025年)8月22日(金)午後1時30分～

場所 飯山市情報センター 1階 大会議室

1 開会(事業戦略課長)

2 市長あいさつ

本審議会は、飯山市情報通信施設条例に基づき i ネット飯山で放送する番組の適正化を図るために設置されている。会議では、自主放送番組についてご協議いただきたい。自主放送は、飯山市の身近なニュースを中心にコミュニティ情報チャンネルとして位置付け地域の活性化を図っている。委員さんよりご意見をいただき、市民に寄り添い、更に喜ばれる番組編成にしたい。議題にもあるが、5月に飯山市ケーブルテレビ事業の今後の運営・整備方針として、ケーブルテレビ事業について、民間事業者への事業承継について発表した。事業承継について今後検討するにあたり、加入者の皆様の負担増とならないよう極力努めたいと考えている。本日、皆さまに本審議会でご審議いただき、本年の審議会が有意義なものになるようお願いする。

3 自己紹介

4 役員選出

飯山市放送番組審議会規程第2条第1項の規定により次のとおり決定

会長 小出 清美 様

副会長 高津 隼 様

5 説明

(1)飯山市ケーブルテレビ事業の今後の運営・整備方針【資料1】

- 事業戦略課説明 質問意見なし

(2)放送番組審議会について【資料2】

- 事業戦略課説明 質問意見なし

(3)放送番組基準及び放送番組編成に関する基本計画について【資料3】

- 事業戦略課説明 質問意見なし

6 協議事項(進行:会長)

(1)自主放送番組について (資料 4)

・(株)テレビ飯山説明

【委員意見】

ニュース番組の中で、映像に映っている方の音声にかぶせる形で、アナウンサーのナレーションが入っている。こういった場合、映っている方が何を話しているか聞きたい方もいるのではと思う。テロップで表示させてはどうか。

【事務局回答】

ニュース番組の場合、2つのパターンがある。1つは音を残してナレーションを入れるパターン。もう1つは、無音にし、ナレーションを入れるパターンがある。テレビ飯山の場合、音を残してナレーションを入れるパターンで統一している。音声が入ることにより、その人が話しているという臨場感を出しつつ、ナレーションで要約した説明を入れている。テロップについては、話している内容とテロップの内容がずれてきて、理解しにくくなる場合があるため、行っていない。

【委員意見】

面白いなと感じた番組に、4月から新しく始まった「月刊こどもリポート」がある。保育園児が遊んだり、給食を食べたり、昼寝している姿が放送されている。自分の孫などがでていたら見たいと思う。視聴者の中にもそういった方がいるのでは。

【事務局回答】

視聴者から反響があると見込み始めた番組。専属カメラマンに対応してもらっている。子どもの親など、若い世代に番組を見てもらいたいというねらいがある。

【委員意見】

「おらほの自慢」について、市内に住んでいても、行ったことのない地域があり、面白い。細かい説明もされており、いい番組だと感じた。

【委員意見】

「おらほの自慢」に出演したことがあるが、突然、訪問があり、身だしなみを整える間もなく収録が始まっていた。事前の訪問について告知はできないか。

【事務局回答】

訪問される方にご迷惑がかかることは重々承知の上で制作している。自然の姿を撮影できるようアポなしで、怒られるのを覚悟し収録している。視聴者には好評をいただいている。しばらく続けさせていただきたい。なるべくご迷惑がかからないようディレクターに伝えたい。

【委員意見】

5年前から飯山に住んでいるが、i ネット飯山に対する認知が薄い気がする。チャンネルがいろいろあり、番組を見ると面白い番組がある。移住者の方もいるので、認知できるような広報をすべきではないか。

【委員意見】

テレビに付随してケーブルテレビ放送がされるというイメージで、i ネット飯山の知名度なく、親近感もあまりわからない。もっと皆さんに、ケーブルテレビはこういうことをやっているというような周知が必要ではないか。

【市長】

たとえば「おらほの自慢」の番組について、収録した地域を防災無線放送で広報することは可能か。加入している人は、関心をもって見るのでは。基本的には、飯山市がケーブルテレビ事業を行っている。このことから防災無線放送で広報することは問題ないと思われる。このことによって、大勢の方に見ていただける効果もある。

【事務局回答】

フェイスブックによる記事のシェアやInstagramによるタグ付けなどを行うことで、若い世代にも広報できる。この方法でいかがか。防災無線となると放送内容の確認等に時間を要する。また、この広報を行うことで公平性が保てなくなる可能性がある。防災無線放送で広報できるかについては、検討させていただきたい。

【委員意見】

視聴者に人気のある番組は、知人や知っているお子さんなどが映っているから見ようという気持ちになる。特集ではないが、地域の人がたくさん出てくるような番組を増やすことは可能か。

【事務局回答】

番組の数を増やすことはできないが、番組の趣旨を変えていくことはできる。スタッフと検討していきたい。

【委員意見】

灯籠まつりや花火大会などで、知人が映っていると見ようとする。そういった工夫はどうか。

【事務局回答】

イベントや行事については、なるべく人を映すようにしている。また、短時間で放送するニュースではなく、なるべく長期間放送できる生放送をしたいと考えているが、マンパワーがない状態。

【委員意見】

他市のテレビ局で、お祭りなどのイベントについて、後日再放送されているのを見た。当日は見られなかった人も見ることができ、いいと思うがいかがか。

【事務局回答】

考えていきたい。

【委員意見】

視聴者の皆さんからの情報提供はあるか。常時、情報提供を受け付けているような雰囲気を作ることで、情報も集まるのでは。

【事務局回答】

イベントをやる方からの情報提供が多い。情報提供があった場合、宣伝や取材も対応をしている。情報提供について、常時受け付けているという情報が皆さんに行き渡っていないと思われる。今後、工夫していきたい。

【委員意見】

広報飯山と一緒に配布されている番組表について、番組表を見たときに、目玉の番組がパッと目に入るようなレイアウトにするなど工夫してみてはいかがか。予算の関係もあると思うが、メリハリをつけたレイアウトにするといいのでは。

【事務局回答】

予算の都合上、委託ではなく、職員がレイアウトおよびデザインを行っている。今後検討していきたい。

【委員意見】

地域おこし協力隊の方をピックアップした番組はあるか。地域おこし協力隊の方と接する方も今後いると思う。視聴者に知ってもらい、つながりを持つことも大切では。

【事務局回答】

地域おこし協力隊の隊員が、地域おこし協力隊のコーナーを作り、i ネット情報局で放送し始めたところ。なんとか皆さんに知っていただきたいと考えている。

【委員意見】

放送内容の一場面を切り抜き、SNSで広報することで、放送時間を知ることができ、見てもらえる機会も増えると思う。

【事務局回答】

コーナーを受け持っている地域おこし協力隊の隊員の方と相談したい。

(2)その他

- ・特になし

8 報告・その他

(1)飯山市情報通信施設条例第 23 条の規定により報告すべき事項について

- ・報告すべき事項なし

(2)その他

【事務局】

次回開催日については、11 月下旬から 12 月までの間で開催を予定したい。

9 閉会（午後 2 時 40 分）